

4月22日

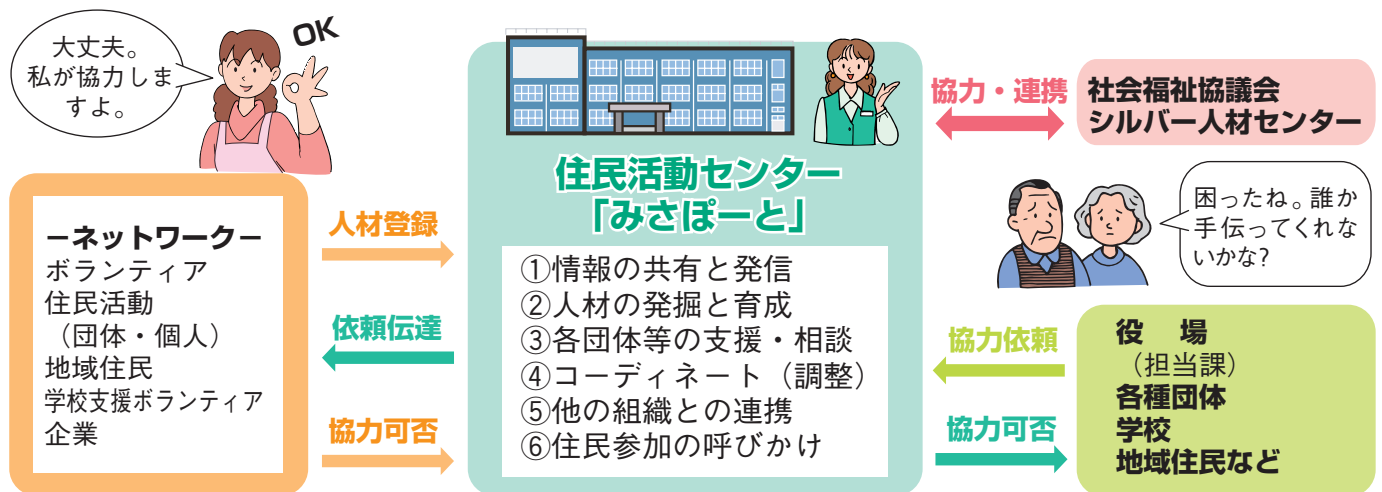
美郷町住民活動センター「みさぽーと」が 六郷庁舎1階にオープンします

美郷町において協働参画のまちづくりを推進するための拠点となる施設「美郷町住民活動センター『みさぽーと』」が六郷庁舎1階町民ホールで一部業務を開始します。

「みさぽーと」とは、みさと(美郷)+さぽーと(支援)+ぽーと(港、拠点)の3つの意味を持っています。美郷町に暮らすみなさんのさまざまな住民活動やボランティア活動を紹介し、また活動を応援するための施設です。21年秋頃の本格オープンを目指し、施設や機能について検討、準備を進めていきます。

※正式な施設については現在検討中ですが、施設が決定後はその施設に機能を移して業務を行います。詳細については決定次第、町広報等でお知らせします。

拠点施設「みさぽーと」のイメージ



「みさぽーと」ってどんな機能をもっているの？

●仮オープン時はコーディネートや情報の収集と発信を中心に活動を行います。

《コーディネートを行います》

コーディネーターが、協力してほしい方(依頼者)と協力してくださる方(みさぽーたー)の橋渡しをします。

《情報の共有と発信をします》

ボランティアや住民活動を行っている団体や個人(みさぽーたー)の情報を情報誌やホームページで紹介します。

《活動を応援します》

団体への助成金情報などを随時お知らせします。
また、ボランティアや住民活動についての相談をお受けします。



コーディネーター

《活動中の事故を補償します》

万が一、活動中にケガをしたり、他人の物を壊してしまったとき、町が加入する住民活動保険の補償が受けられます。
(※他の保険の補償が受けられる場合は対象になりません。)



《他の組織との連携》

社会福祉協議会やシルバー人材センターなど他の団体と協力や連携を図ります。



●本格オープン後は託児スペースや会議・交流スペースの提供、コピー機や印刷機の貸出しなども検討しています。



役場(六郷庁舎)総務課まちづくり班 ☎0187(84)1111 ☒0187(84)1117

本堂城廻村絵図が 秋田県有形文化財(歴史資料)に指定されました

3月13日、町指定文化財「本堂城廻村絵図(2幅)」が秋田県有形文化財(歴史資料)に指定されました。慶長19年(西暦1614年)の絵図は佐竹氏が秋田に国入りして間もない頃の様子を伝える本県最古の村絵図であり、明和4年(西暦1767年)の絵図は、さらに153年後に描かれたもので、屋敷地ごとの境界線から広さを知ることができる絵図です。両絵図は平成12年2月1日に、本堂城回集落より旧千畑町に寄贈され、地域の歴史を伝える資料として活用されてきており、中世城下町から近世村落への移り変わりを比較対照することができる県内唯一の絵図であることから、このたびの指定に至りました。



▲明和4年本堂城廻村絵図



▲慶長19年本堂城廻村絵図

風

「そのころ」

美郷町長 松田知己



▲3月3日、町議会定例会で施政方針を述べる松田町長

年度始めの四月。朝の連続テレビ小説だけではなく、あちらこちらで入学や就職などによる新たなドラマが始まりますが、私も美郷町も今、新たなドラマの始まりに立ちました。今月号の広報で取り上げております公共施設と学校施設の再編整備が、それです。

このことは、合併に伴う大きな課題としてかねてより協議を重ねてきましたが、この度、町議会と共通認識を得て、その内容を皆さんに提示する段階に至ったところです。

そこで、改めてその目的を説明します。大きくとらえて言うと、公共施設の再編整備については、縮小せざるを得ない財政環境の中、絶対に必要な行政サービスや行政施策の展開を将来も可能とす

るよう、政策経費を確保するためです。身の丈を超えて同類施設を多く抱えることは、維持管理経費もその分多くなり、結果的に政策経費にしわ寄せがいくこととなります。

また、学校施設の再編整備については、少子化が進む中、子供たちにとって望ましい教育環境、つまりはある程度的人数規模の中で、バランス感と自律性に富んだ人に成長していくよう、クラブ活動を含めて切磋琢磨や協調、自己発現や自己選択の幅を担保するためです。当然、小規模校の良さもありますが、さまざまな価値観が存在し、その中で立つ位置を見つめる大人社会を見通した場合、いろんなことを広く経験しながら、経験から学ぶ賢さを身に付けやすい環境にするのは、大人の責任だろうと思います。

この度の内容については、ともに施設規模や建築年次などに留意するとともに、大局に立つての三方一両損的な地域バランスにも配慮しています。つまり、規模が大きく新しい施設にできる範囲でまとめるとともに、町全体ではどの地域も平等にちよつと我慢してもらおうように注意したということとです。そのころは、道理を基本としながらも、人情にも配慮して町の一体化を進めたいという想いです。どうかご理解をお願いいたします。

通常、ドラマは波乱万丈のストーリーが面白いわけですが、このドラマに限っては、沈着冷静にストーリーが展開されるよう、丁寧に話を進めてまいりたいと思います。

移動町長室

町長が毎週火曜日に仙南庁舎、木曜日に千畑庁舎で執務しています。(会議への出席などにより、実施できない場合があります)